平成28年12月9日開会

平成28年12月9日閉会

平成28年三宅町議会 第4回定例会会議録

三宅町議会

平成28年12月三宅町議会第4回定例会会議録目次

招集告示	1
会期日程表	2
第 1 号 (12月9日)	
出席議員	3
欠席議員	3
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の役職氏名	3
職務のため会議に出席した者の役職氏名	3
議事日程	4
議長挨拶	6
町長挨拶	6
開会の宣告	7
議事日程の報告	7
会議録署名議員の指名	7
会期の決定	7
議案第47号～議案第65号の上程、説明、質疑、討論、採決	8
同意第6号の上程、説明、質疑、採決	21
発議第2号の上程、説明、質疑、討論、採決	22
発議第3号の上程、説明、質疑、討論、採決	24
発議第4号の上程、説明、質疑、討論、採決	26
一般質問	27
瀬 角 清 司 君	28
辰 巳 光 則 君	29
森 内 哲 也 君	34
池 田 年 夫 君	40
追加議案の上程	49
議案第66号の上程、説明、質疑、討論、採決	49
町長挨拶	51
閉会の宣告	52

三宅町告示第155号

平成28年12月三宅町議会第4回定例会を
次のとおり招集する

平成28年11月18日

三宅町長 森 田 浩 司

記

1. 招集日時 平成28年12月9日 金曜日
午 前 9時30分 開 会
1. 招集場所 三宅町役場 3階 議会議場

平成28年12月三宅町議会第4回定例会

会期日程表

平成28年12月 9日金曜日 1日間

目次	月日曜日	開会時間	摘要
第1日目	12月9日 金曜日	午前 9時30分	定例会開会

平成28年12月三宅町議会第4回定例会〔第1号〕

招集の日時 平成28年12月9日金曜日午前9時30分開会

招集の場所 三宅町役場3階議会議場

出席議員名

瀬角清司	松本健	森内哲也
辰巳光則	松田晴光	衣川喜憲
植村ケイ子	川口靖夫	池田年夫
辰巳勝秀		

欠席議員数（0名）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の役職氏名

町長	森田浩司	副町長	北野勝也
教育長	澤井俊一	総務部長	岡橋正識
未来創造部長	江蔵潔明	くらし創造部長	森本典秀
健康子ども部長	中田進	土木環境部長	東浦一人
教育委員会事務局長	岡本豊彦	幼稚園園長	吉井五十鈴
会計管理者	乾輝男		

本会議に職務のため出席した者の役職氏名

議会事務局長	山田恵二	モニター室係	堀川佳則
モニター室係	長谷川淳	モニター室係	大林裕也

本日の会議に付議した事件

議事日程（別紙のとおり）

本会議の会議録署名議員氏名

1 番 議 員 瀬 角 清 司 2 番 議 員 松 本 健

平成28年12月三宅町議会第4回定例会〔第1号〕

議 事 日 程

平成28年12月 9日 金曜日

午 前 9時30分 開 会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会 期 の 決 定
- 日程第3 議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算について
- 日程第4 議案第48号 平成28年度三宅町国民健康保険特別会計第3回補正予算について
- 日程第5 議案第49号 平成28年度三宅町介護保険特別会計第3回補正予算について
- 日程第6 議案第50号 平成28年度三宅町公共下水道事業特別会計第2回補正予算について
- 日程第7 議案第51号 平成28年度三宅町水道事業会計第3回補正予算について
- 日程第8 議案第52号 三宅町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の
制定について
- 日程第9 議案第53号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改
正する条例の制定について
- 日程第10 議案第54号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて
- 日程第11 議案第55号 三宅町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第12 議案第56号 三宅町税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 日程第13 議案第57号 三宅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第14 議案第58号 三宅町保健福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第15 議案第59号 三宅町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について
- 日程第16 議案第60号 奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び
奈良県市町村総合事務組合規約の変更について
- 日程第17 議案第61号 奈良広域水質検査センター組合を組織する市町村数の増加及び規約
の変更について

- 日程第18 議案第62号 財産の無償貸付について
- 日程第19 議案第63号 三宅町消防団詰所及び倉庫新築工事請負契約の締結について
- 日程第20 議案第64号 財産の取得について
- 日程第21 議案第65号 三宅町体育館、奈良県三宅健民運動場、三宅町中央公園及び運動施設の指定管理者の指定について
- 日程第22 同意第6号 三宅町教育委員会委員の任命について
- 日程第23 発議第2号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
- 日程第24 発議第3号 核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書
- 日程第25 発議第4号 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修見直しに関する意見書
- 日程第26 一般質問について
- 追加日程第1 議案第66号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎議長挨拶

○議長（植村ケイ子君） 皆様、おはようございます。定刻の時刻となりましたので、始めたいと思います。

本日、平成28年12月三宅町議会第4回定例会を招集されましたところ、議員各位にはご出席いただき、ありがとうございます。

本日提出されております議案につきましては、平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算についてを初めとする議案19件、同意1件、発議3件が提出されております。

議員各位におかれましては、円滑に議事を進められ、適正妥当な議決に達せられますよう議会運営にご協力を賜り、慎重審議をお願い申し上げまして、開会の挨拶といたします。

また、携帯電話をお持ちの方は、マナーモードにするか、電源をお切りくださいますようお願いいたします。

◎町長挨拶

○議長（植村ケイ子君） 開会に先立ち、森田町長より挨拶をいただきます。

森田町長。

○町長（森田浩司君） 皆さん、おはようございます。

本日、ここに平成28年三宅町議会第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多忙の中ご出席いただき、厚く御礼申し上げます。また、議員の皆様方には、日ごろより町政発展のため、ご支援、ご協力を賜っておりますことを、重ねてお礼申し上げます。

先日、三宅幼稚園にて発生しました感染性胃腸炎につきましては、保健所のご指導のもと、園内消毒、手洗いの徹底とご家庭でのご協力もいただき、新規発症者がなくなりました11月22日をもって、保健所から終息が発表されたところでございます。議員皆様には、大変ご心配をおかけしました。この場をおかりいたしまして、改めてご報告とさせていただきます。

さて、奈良県内市町村の普通会計決算の状況が公表されております。本町におきましては、平成27年度の経常収支比率が82.8%となり、前年度に比べ7.8%の改善となっており、全国市町村平均の90%を7.2%、奈良県市町村平均の93.5%を10.7%下回り、現在は健全な状況にあるといえ、県内39自治体では上位6番目に位置する状況であります。また、あわせて公表されております税の徴収率にあつては、2年連続県内1位の99.2%となったところでござ

いますが、今後も引き続き、効率的な行政運営の推進に努めてまいる所存であります。

今期定例会において、議員皆様方にご審議を賜ります議案につきましては、平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算を初め、特別会計補正予算3件、水道事業会計補正予算1件、条例の制定及び改正について8件、規約変更2件、議決案件4件、人事の同意1件の計20件の重要案件を提案申し上げ、ご審議願うわけでございますが、何とぞ慎重ご審議賜りますようお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（植村ケイ子君） ありがとうございます。

◎開会の宣告

○議長（植村ケイ子君） ただいまの出席議員数は10名で定足数に達しております。

よって、平成28年12月三宅町議会第4回定例会は成立しましたので開会し、直ちに本日の会議を開きます。

（午前 9時34分）

◎議事日程の報告

○議長（植村ケイ子君） なお、本日の議事日程はお手元に配付しておりますとおりであります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（植村ケイ子君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により1番議員、瀬角清司君、2番議員、松本 健君の2人を指名します。

◎会期の決定

○議長（植村ケイ子君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日の1日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は本日の1日間とすることに決定しました。

◎議案第47号～議案第65号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（植村ケイ子君） お諮りいたします。

日程第3、議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算についてより日程第22、同意第6号 三宅町教育委員会委員の任命についてまでの各議案につきましては、既に招集通知とともに配付いたしておりますので、各位におかれましては熟読願っている関係上、この際議案の朗読を省略したいと思います。

お諮りいたします。

日程第3、議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算についてより日程第21、議案第65号 三宅町体育館、奈良県三宅健民運動場、三宅町中央公園及び運動施設の指定管理者の指定についてまでの議案19件を一括上程したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 異議なしと認め、一括上程いたします。

議案の朗読を省略し、森田町長より提案理由の説明を求めます。

森田町長。

○町長（森田浩司君） 本定例会に提出いたしました各議案について、その概要をご説明いたします。

それでは、議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算について説明をいたします。

歳出から説明をいたします。

8ページをごらんください。

款1 議会費、項1 議会費、目1 議会費では、平成28年8月の人事院勧告に準じて賞与率を0.1月分引き上げ、3.35月分に改定を行うことから、議員報酬33万7,000円の増額を行うものであります。

次に、款2 総務費、項1 総務管理費、目1 一般管理費では、平成28年8月の人事院勧告に準じて職員の平均給与を0.2%改定し、賞与率を0.1%引き上げを行うことから、節2 給料21万3,000円、節3 職員手当等146万3,000円の増額を行うものであります。以降、節2 給料、節3 職員手当のおのおのにおいて、同じく、目4 企画費で18万5,000円と63万8,000円、9ペー

ジの3段目、項3戸籍住民基本台帳費で7万1,000円と88万円、款3民生費、項1社会福祉費で13万7,000円と52万7,000円、10ページに移り、項2児童福祉費で24万9,000円と128万1,000円、款8土木費で9万2,000円と39万5,000円、11ページの2段目、款10教育費、項1教育総務費、目2事務局費で7万3,000円と24万7,000円となり、人件費の合計では645万1,000円の増額を行うものであります。

8ページにお戻りください。

款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費では、ふるさと納税推進事業による寄附件数が当初予想を上回ることから、納税者への通知文書等の発送料並びに記念品の送料として、役務費で62万3,000円の増額、Yahoo!公金サービスを利用した場合のクレジット払いの利用料として、使用料及び賃借料で7万9,000円の増額、町内協力企業への負担金363万3,000円の増額を行うものであります。また、平成26年度繰り越しの地方創生先行型事業の三宅PR事業において補助実績報告の誤りが発覚したため、県との協議の結果、自主返納を行うため、返還金で50万円の増額を行うものでございます。同じく、目9ふるさと納税基金費では、さきに説明をいたしておりますとおり、ふるさと納税件数が当初予想を上回ることから、基金への積立金293万円の増額を行うものであります。

9ページ、2段目をごらんください。

項2徴税费、目1税務総務費では、職員の出産休暇に伴い、代替となる住民税事務及び確定申告受付事務等を担当するパート職員を雇用する必要が生じたため、2月から3月までの2カ月分の社会保険料2,000円及び賃金20万2,000円の増額を行うものでございます。

9ページの4段目をごらんください。

款3民生費、項1社会福祉費、目8臨時福祉給付金給付事業では、平成29年度において引き続き実施されることになった臨時福祉給付金給付事業について、4月からの給付開始に向けて事務経費の計上を行うため、消耗品費4万円、通知書の発送、広報チラシの折り込み手数料として役務費25万3,000円、電算システムの改修費として委託料333万9,000円の増額を行うものであります。

10ページの2段目をごらんください。

款4衛生費、項1保健衛生費、目3環境衛生費では、上但馬火葬場について、当初予算では、存続希望により補強、補修を行い、長寿命化を図るため工事請負費を計上しておりましたが、その後も上但馬自治会において協議を重ねていただいた結果、廃止の結論に至ったため、工事発注に係る事務経費として計上していた通信運搬費3,000円、工事請負費1,090万

8,000円をそれぞれ減額するものでございます。

款9消防費、項1消防費、目3非常備消防費では、三宅町消防団の消防力の強化、防災活動のため、狹隘地区への進入が可能となり、また水防活動時の巡視警戒を強化することを目的に、小型動力ポンプ積載の軽自動車の購入を行うため、かねてより申請を行っていた県補助金の内示及び交付税措置を受けることができる緊急防災・減災事業債を財源とする見通しとなったことから、車両の購入、登録諸経費として役務費3万7,000円、備品購入費55万5,000円の増額を行うものでございます。

11ページの2段目をごらんください。

款14予備費、項1予備費、目1予備費においては、これまでにご説明をいたしました補正予算の財源調整のため、473万3,000円の減額補正を行ったものであります。

続いて、歳入の説明をいたします。

7ページをごらんください。

款13国庫補助金、項2国庫補助金、目2民生補助金では、さきに歳出で説明をいたしましたとおり、平成29年度において引き続き実施されることになった臨時福祉給付金給付事業に係る歳入について、社会福祉補助金363万円の増額を行うものであります。

次に、款14県支出金、項2県補助金、目7消防補助金では、さきに歳出で説明いたしました、小型動力ポンプ積載の軽自動車の購入に係る消防力強化支援事業補助金89万9,000円の増額を行うものであります。

次に、款16寄付金、項1寄付金、目2ふるさと納税では、ふるさと納税件数が当初予測348件に対し824件に上回る見込みとなっていることから、726万5,000円の増額を行うものであります。

次に、款20町債、項1町債、目4衛生費では、さきに歳出で説明をいたしました上但馬火葬場の補強工事費を減額することから、その財源であった一般単独事業債810万円の減額を行うものであります。同じく、目8消防費では、さきに説明をいたしました消防力強化支援事業補助金の増額にあわせて緊急防災・減災事業債460万円の増額を行うものであります。

このことにより、今回の補正額は、歳入歳出予算にそれぞれ824万4,000円を増額し、予算総額を39億8,450万3,000円と定める補正予算の提出を行ったものであります。

続きまして、議案第48号 平成28年度三宅町国民健康保険特別会計第3回補正予算について説明をいたします。

歳出から説明をいたします。

4ページをごらんください。

款7共同事業拠出金、項1共同事業拠出金、目1高額医療費共同事業拠出金では、高額医療費共同事業の交付事業に係る今年度の確定拠出見込み額の通知があったことから、当初見込み額に対して不足する国保連合会への拠出金となる負担金557万4,000円の増額を行っております。

歳入の説明をいたします。

3ページをごらんください。

款4国庫支出金、項1国庫負担金、目2高額医療費共同事業負担金では、国民健康保険、保険財政共同安定化事業に係る高度医療費共同事業負担金については、前年度実績に基づき確定されることから、国費負担金において138万4,000円の増額、次の款7県支出金、項1県負担金、目1高額医療費共同事業負担金で、138万4,000円の増額、次の款8共同事業交付金、項1共同事業交付金、目1高額医療費共同事業交付金において280万6,000円の増額を行うものでございます。

このことにより、今回の補正額は、歳入歳出予算にそれぞれ557万4,000円を増額し、予算総額を10億175万6,000円と定める補正予算の提出を行ったものであります。

議案第49号 平成28年度三宅町介護保険特別会計第3回補正予算について説明いたします。
歳出のみの説明となります。

2ページをごらんください。

款5地域支援事業費、項2包括的支援事業・任意事業費、目1地域包括支援センター総務費では、三宅町第6期介護保険事業計画に基づく認知症初期集中支援チームを設置し、平成29年1月始動に向けてサポート会議等を実施するため、チーム員となるサポート医や精神保健福祉士への賃金1万8,000円、報償費5万1,000円及び事務経費として役務費2,000円の増額を行う補正予算であります。

款7予備費、項1予備費、目1予備費においては、財源調整のため7万1,000円の減額補正を行うものであります。

このことにより、今回の補正額は、歳出において既定の予算の範囲内で行っており、予算総額そのものの変動はございません。

議案第50号 平成28年度三宅町公共下水道事業特別会計第2回補正予算について説明いたします。

歳出のみの説明となります。

3ページをごらんください。

款1 公共下水道事業費、項1 公共下水道費、目1 一般管理費では、人事院勧告の実施に伴う給料2万円、職員手当等11万2,000円の増額、同じく、目2 公共下水道整備費において、職員手当等4万5,000円の増額を行う補正予算であります。

款3 予備費、項1 予備費、目1 予備費においては、財源調整のため17万7,000円の減額を行うものであり、今回の補正額は、歳出において既定の予算の範囲内で行っており、予算総額そのものの変動はございません。

議案第51号 平成28年度三宅町水道事業会計第3回補正予算について説明いたします。

3ページをごらんください。

款21 水道事業費用、項01 営業費用、目20 総係費では、同じく人事院勧告の実施に伴う勤勉手当4万4,000円の増額を行う補正予算であります。

このことにより、今回の補正額は、水道事業収益において増減なしの1億8,584万7,000円、水道事業費用に4万4,000円を増額し、1億6,781万4,000円とする補正予算の提出を行ったものであります。

以上で、各会計におきます補正予算の説明を終わります。

次に、条例の制定及び条例の一部改正について説明いたします。

議案第52号 三宅町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、次の議案第53号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明いたします。

いずれも平成28年8月人事院勧告に伴い、賞与率を0.1月分引き上げ、年間3.35月分に改正を行うものであり、平成28年12月1日に遡及し適用するものであります。

議案第54号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定については、平成28年8月の人事院勧告に伴い、職員の初任給を1,500円引き上げ、その他平均改定率0.2%とする改定を行い、また賞与率を0.1%引き上げ、年間4.30月分とする改定を、平成28年4月1日にさかのぼって行い、また配偶者及び父母、子に係る扶養手当の見直しを、平成29年4月1日から段階的に引き下げ、または引き上げを実施するため、改正を行うものであります。

議案第55号 三宅町職員定数条例の一部を改正する条例の制定については、後に説明をいたします議案とも関連しますが、農業委員会法の一部改正に伴い、本条例において同法律分を引用する条文の整備を行い、また職員の育児休業並びに公益法人等への派遣時の取り扱い

について明確にするため、規定を追加するものであります。

議案第56号 三宅町税条例等の一部を改正する条例の制定については、地方税法の改正により、住民税の申告後に更正や修正申告があった場合に、延滞金の計算期間から一定の期間を控除して計算することとされたことによる条文の整備、セルフメディケーション推進のため医療用から転用された医薬品、いわゆるスイッチO T C薬を購入した個人が受けることのできる医療費控除の特例について定める条文の整備、また日本と台湾との租税条約に基づく国際課税に係る外国居住者等所得相互免除法の改正による個人町民税の条文について、必要な改正を行うものでございます。

議案第57号 三宅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定については、議案第56号の税条例の一部改正のうち、外国居住者等所得相互免除法の改正に伴うものと同様に、本条例の改正を行う必要が生じたものでございます。

議案第58号 三宅町保健福祉施設条例の一部を改正する条例の制定については、保健福祉施設あざさ苑の会議室、和室、研修室を利用できる時間を21時までと延長し、各室における夜間の使用料を1,500円ないし2,000円と制定するため、条例の改正を行うものでございます。

議案第59号 三宅町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定については、農業委員会法の一部改正を含む農業協同組合法等の一部を改正する等の法律が公布されたことにより、農業委員の選出方法が、公選制から議会の同意のもと市町村長の選任制となるため、現委員の任期は平成29年7月19日までとなり、それ以降は新法での運営となることに対応して、三宅町農業委員の選挙による定数条例を廃止し、新たに農業委員会の委員の定数を10人と定める条例を制定するものでございます。

以上で、条例の制定及び条例の一部改正についての説明を終わります。

次に、規約の変更について説明いたします。

議案第60号 奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組規約の変更については、西和衛生試験センターが平成29年3月末をもって解散することに伴い、本行政事務組合を脱退させることとし、平成29年4月1日から本規約を変更することについて、地方自治法第290条の規定に基づき議会の議決を求めるものでございます。

なお、西和衛生試験センターについては、上水道の水質検査を目的とする一部事務組合でありまして、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町及び河合町が設立をしていたものでございます。

議案第61号 奈良広域水質検査センター組合を組織する市町村数の増加及び規約の変更については、地方自治法第286条第1項の規定により、平成29年4月1日から同組合に平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町及び河合町が加入することにつき、地方自治法第290条の規定に基づき議会の議決を求めるものでございます。

以上で、規約の変更について説明を終わります。

次に、議決案件について説明いたします。

議案第62号 財産の無償貸付について説明いたします。

当該貸し付けの対象となりますのは、解放会館に隣接する旧上但馬団地集会所であり、平成18年12月議会においてご承認を賜り、小規模多機能型居宅介護支援事業所の建物として、平成19年1月より社会福祉法人ひまわりに無償で貸し付けをし、地代相当額については、利用的経費として月額2万8,200円の納付をいただいていたところではありますが、その貸付期間が、平成29年1月9日をもって当初契約の期間10年を迎えます。

小規模多機能型居宅介護施設とは、介護保険法に基づく介護サービスのうち、要支援1以上、要介護1以上の町民を原則として対象に、通所介護、デイサービスを中心に、ショートステイや訪問介護を受けることができる施設であり、この事業の認可を受けたものは本町に1事業所となっており、近隣では川西町にはなく、田原本町に1業者がある現状であります。

本町については、介護保険法に基づく地域密着型サービスを担うものとして引き続き必要であると考えており、当該建物を継続して10年間無償で貸し付けることについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

なお、当初貸し付けに際して活用された地域再生計画は、未利用施設の無償貸付を条件に公立社会教育施設を転用、有効活用することについて、補助金の返還を要しない財産処分として、文部科学省の承認を受けて行ったものであることから、運営経費の負担は当然のこととし、地代相当額については、覚書を別途締結し、利用的経費として納付することを約した覚書を締結していたものであります。

更新後も利用的経費は継続するものいたしますが、固定資産税評価額を基準とするなど、実情を反映したものに改善し、納付いただいた金額を適切に活用できるよう基金への積み立てを行うなど、有効的な活用を行ってまいります。

本議案提出の趣旨をご理解いただき、議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。

続きまして、議案第63号 三宅町消防団詰所及び倉庫新築工事請負契約の締結については、

去る12月5日に入札を執行いたしました同工事請負契約の締結につき、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

契約の相手方は、住所、奈良県橿原市中曾司町80の5、氏名、株式会社古市工務店、代表取締役、古市恵美子、契約金額は9,920万5,236円であります。議決を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

議案第64号 財産の取得については、去る11月30日に入札を執行いたしました4トン級じんかい車1台の購入につき、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

契約の相手方は、住所、奈良県御所市玉手56番地、氏名、清水哲自動車株式会社、代表取締役、清水哲雄、契約金額は1,053万8,292円であります。議決を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

続いて、議案第65号 三宅町体育館、奈良県三宅健民運動場、三宅町中央公園及び運動施設の指定管理者の指定については、平成28年度末をもって2度目の指定期間が終了することから公募を行ったところ、4事業者の応募があり、11月7日開催の三宅町公の施設指定管理者選定審査会で候補者と決定された者を指定管理者として指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

なお、指定の期間は、平成29年4月1日から平成32年3月31日の3年間とし、指定管理者に指定する団体の名称は、株式会社サンアメニティ、代表取締役、吉澤幸夫で、主たる事務所の所在地は、東京都北区王子3の19の7であります。議決を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。

以上で、説明を終わります。

○議長（植村ケイ子君） ありがとうございます。

ただいま町長の説明が終わりましたので、質疑に入ります。

日程第3、議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算についてより日程第21、議案第65号 三宅町体育館、奈良県三宅健民運動場、三宅町中央公園及び運動施設の指定管理者の指定についてまでの議案19件を一括議題とし、質疑を許します。

9番、池田年夫君。

○9番（池田年夫君） 議案第48号 国民健康保険特別会計第3回補正予算についてであります。高額な医療費80万円を対象とした市町村の実績が確定したということでもありますけれ

ども、本町の場合、高額医療費を対象とした件数はどのような推移、5年間でありますけれども、どのような推移になっているのでしょうか。

そして、次に、議案第62号 財産の無償貸付についてでありますけれども、この無償貸付の施設は、介護保険事業所の一つとして小規模多機能型居宅介護事業所として、定員18名でありますけれども運営されてきていますが、現在の利用者は8名と聞いています。三宅町の介護認定者の総数は何名で、介護通所、訪問介護、ショートステイのサービスを受けておられる人数は何名でしょうか。また、どこの施設を利用しているのでしょうか。お答えください。

○議長（植村ケイ子君） はい、どうぞ。

○くらし創造部長（森本典秀君） それでは、9番、池田議員の質問にお答えします。

まず、初めに、議案第48号 平成28年度三宅町国民健康保険特別会計第3回補正予算についてのご質問にお答えします。

本町の80万円以上の高額医療費に係る診療報酬等の明細書、レセプトの過去5年間の件数を申し上げます。平成23年度は73件、平成24年度は86件、平成25年度は80件、平成26年度は70件、平成27年度は110件となっております。

次に、議案第62号 財産の無償貸付についてのご質問にお答えします。

まず、本町の要介護、要支援の認定者数は、平成28年10月末現在で397名となっております。

次に、通所介護、訪問介護、ショートステイの利用者数ですが、議員の質問にもありますように、小規模多機能型居宅介護事業所の利用者は8名であり、町内における本サービスの利用者も8名のみでございます。町内1施設のみでの利用であり、町外の利用はございません。

なお、参考としまして、小規模多機能型居宅介護を初めとする地域密着型サービスでない介護予防事業を含めます通所介護、訪問介護、短期入所生活介護、療養介護、いわゆるショートステイの3つのサービスに係る平成28年度9月分の利用状況につきましては、延べ264名が利用され、事業所につきましては、町内3施設を含みます県内66施設、県外1施設の計67施設にて利用されています。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員、再質問。

○9番（池田年夫君） 今、答弁されたんですけれども、小規模多機能型居宅介護事業所は、18名のところを8名しか利用がないということでありまして。答弁でも明らかなように、28年

度で264名の方があらゆるサービスを受けておられるわけであり、町内の施設として、もっと利用できるようにしていく必要があるというふうにとれるわけであり、ですので、こういう事業所についてももっと定員を確保できるように、今後努力されるように、意見として申し述べておきます。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員、それでいいですか。

○9番（池田年夫君） はい。

○議長（植村ケイ子君） ほかにありませんか。

（発言する者なし）

○議長（植村ケイ子君） ないようですので、質疑は終了します。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） ありませんね。

そしたら、討論なしと認めます。討論を終わります。

お諮りします。

日程第3、議案第47号 平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算についてを採決します。

採決は起立で行います。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（植村ケイ子君） 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第4、議案第48号 平成28年度三宅町国民健康保険特別会計第3回補正予算についてを採決いたします。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（植村ケイ子君） 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りいたします。

日程第5、議案第49号 平成28年度三宅町介護保険特別会計第3回補正予算についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りいたします。

日程第6、議案第50号 平成28年度三宅町公共下水道事業特別会計第2回補正予算についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りいたします。

日程第7、議案第51号 平成28年度三宅町水道事業会計第3回補正予算についてを採決いたします。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りいたします。

日程第8、議案第52号 三宅町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてより日程第10、議案第54号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についてまでの3件を一括で採決したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(植村ケイ子君) 異議なしと認め、採決いたします。

本3件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本3件は可決することに決定しました。

お諮りいたします。

日程第11、議案第55号 三宅町職員定数条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第12、議案第56号 三宅町税条例等の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第13、議案第57号 三宅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第14、議案第58号 三宅町保健福祉施設条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第15、議案第59号 三宅町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第16、議案第60号 奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第17、議案第61号 奈良広域水質検査センター組合を組織する市町村数の増加及び規約の変更についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第18、議案第62号 財産の無償貸付についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第19、議案第63号 三宅町消防団詰所及び倉庫新築工事請負契約の締結についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第20、議案第64号 財産の取得についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

お諮りします。

日程第21、議案第65号 三宅町体育館、奈良県三宅健民運動場、三宅町中央公園及び運動施設の指定管理者の指定についてを採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

◎同意第6号の上程、説明、質疑、採決

○議長(植村ケイ子君) 日程第22、同意第6号 三宅町教育委員会委員の任命についてを議題とし、森田町長より説明を求めます。

森田町長。

○町長(森田浩司君) 同意第6号 三宅町教育委員会委員の任命につきましては、10月1日より欠員となっている三宅町教育委員1名を新たに任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めらるべく提出いたしております。

氏名等の朗読をもって説明とさせていただきます。

住所 奈良県磯城郡三宅町大字小柳409番地の2。

氏名 乾正史。

生年月日 昭和28年7月24日。

ご同意のほど、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長(植村ケイ子君) ただいま町長の説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(植村ケイ子君) 質疑なしと認めます。

それでは、本件について討論を省略し、採決を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(植村ケイ子君) お諮りします。

本件はこれに同意することに賛成諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(植村ケイ子君) 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

ここで、乾正史教育委員会委員さんに入場願います。

(教育委員会委員 乾正史君入場)

○議長(植村ケイ子君) ただいま、本議会において、三宅町教育委員会委員に同意されました乾教育委員会委員さんに、就任の挨拶を受けることにいたします。

○教育委員会委員(乾 正史君) 皆様、おはようございます。

このたび、三宅町教育委員にご承認をいただきます乾と申します。どうぞよろしく願いいたします。

今回、教育委員というお話をいただき、身にしみる光栄でございます。また、一方で、大変緊張もし、責任の重さも痛感しているところでございます。また、私自身、教員を長く勤めていたものですから、そういった意味でさまざまな経験を生かして、三宅町の教育に少しでもお役に立てるように努めてまいりたいという決意しております。どうかよろしく願いいたします。

何分、私自身、教育行政については素人でございますので、どうか皆様方のご指導、ご支援、そしてまたご鞭撻のほど、よろしくお願いを申し上げまして、大変簡単ですが、私の挨拶にかえさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。

○議長(植村ケイ子君) ありがとうございます。ご退場願います。

(教育委員会委員 乾正史君退場)

◎発議第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(植村ケイ子君) お諮りします。

日程第23、発議第2号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を議題とし、上程したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(植村ケイ子君) 異議なしと認め、提出者の衣川議員より提案理由の説明を求めます。
衣川喜憲君。

○6番(衣川喜憲君) おはようございます。

ただいまより、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を、朗読でもって提案させていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書。

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たす役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月9日。

奈良県磯城郡三宅町議会。

どうかよろしくご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○議長(植村ケイ子君) 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(植村ケイ子君) 質疑なしと認めます。質疑は終結します。

これより討論を行います。討論はありますか。

はい、松本議員。

○2番（松本 健君） 私は、この意見書に記されました「こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える」また、「人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現することが必要である」というふうには考えることができません。

議員のなり手不足は、地方議会が二元代表制という制度のもとで一翼を担い切れていないことに起因するものであり、改革のために人材は必要であります。本意見書の対策がそういった人材の確保につながるものとは考えられません。逆に、このような内容の意見書を提出することが、国民の政治離れにつながっていきはしないかと危惧しております。

したがって、本意見書の提出には反対いたします。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 今のは反対討論でしたので、賛成討論の方おられますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） ありませんね。

討論なしと認めます。討論は終結します。

お諮りします。

日程第23、発議第2号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を採決します。

本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（植村ケイ子君） 起立多数と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

◎発議第3号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（植村ケイ子君） お諮りします。

日程第24、発議第3号 核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書を議題とし、上程したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 異議なしと認め、提出者の池田議員より提案理由の説明を求めます。

池田年夫君。

○9番（池田年夫君） 核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書（案）の趣旨説明を行

います。

10月27日、国連総会第1委員会が開かれました。この場で、核兵器禁止条約について交渉する国連の会議を来年に招集するとした決議案を、圧倒的な賛成多数で採決いたしました。日本は唯一の戦争被爆国でありながら、米国など核保有国と歩調を合わせて反対いたしました。

採決の結果は、賛成123、反対38、棄権16、核保有国5カ国、米、英、仏、中、ロのうち、中国は棄権し、他の4カ国は反対しました。韓国、北大西洋条約機構諸国などは、反対や棄権に回りました。

決議は、核兵器を禁止し、完全廃絶につながるような法的拘束力のある措置を交渉するために、国連の会議を2017年に招集するよう決定するとし、全ての国連加盟国に参加を促しています。

核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書（案）を読み上げて、提案とさせていただきます。

核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書（案）。

5月27日に、現職のアメリカ大統領が広島を初めて訪問されました。このことは、核兵器のない世界を実現するうえで、前向きな歴史的一歩ではないでしょうか。今こそ、核兵器の非人道性を正面から直視し、核兵器禁止条約の国際交渉を開始するという具体的な行動に日本政府が大きな役割を果たすべきです。世界には依然として1万6,000発以上の核兵器が存在しており、それらの多くが高度警戒態勢にあるとされています。

また、新国際署名と言われている「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」運動が、ノーベル平和賞候補となった谷口稜暉さんやサーロー・セツコさんはじめ9人の被爆者が世界に呼びかけ始めました。この署名は、「被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求めます」という被爆者の訴えへの賛同を求めるものです。

今こそ、日本政府はこうした被爆者の核兵器廃絶の想いに応え、世界で唯一の被爆国にふさわしい役割を果たすべく核兵器禁止条約の交渉開始に向け、具体的行動を開始するよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月9日。

三宅町議会。

皆さんの賛同を、よろしく願いいたします。

○議長（植村ケイ子君） 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 質疑なしと認めます。質疑は終了します。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） ありませんね。

討論なしと認めます。討論は終了します。

お諮りします。

日程第24、発議第3号 核兵器廃絶に向けた具体的行動を求める意見書を採決します。

本件は原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（植村ケイ子君） 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

◎発議第4号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（植村ケイ子君） お諮りします。

日程第25、発議第4号 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書を議題とし、上程したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 異議なしと認め、提出者の瀬角議員より提案理由の説明を求めます。

瀬角清司君。

○1番（瀬角清司君） 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書について、発議提案します。

朗読をもって提案説明といたします。

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書（案）。

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれた。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしている。

手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っており、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者の閉じこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっている。

また、軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者への負担増大になりかねず、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあり、介護人材の不足に拍車をかけることになりかねない。

については、国におかれては、次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を進めることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月9日。

奈良県三宅町議会。

以上です。ご同意のほどよろしく願いいたします。

○議長（植村ケイ子君） 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 質疑なしと認めます。質疑は終結します。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 討論なしと認めます。討論は終結します。

お諮りします。

日程第25、発議第4号 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書を採決します。

本件は原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（植村ケイ子君） 起立全員と認めます。

よって、本件は可決することに決定しました。

◎一般質問

○議長（植村ケイ子君） 日程第26、一般質問についてを議題とし、一般質問を行います。

今定例会に通告されました議員の発言を許します。

◇ 瀬 角 清 司 君

○議長（植村ケイ子君） 1番議員、瀬角清司君の一般質問を許します。

1番議員、瀬角清司君。

○1番（瀬角清司君） それでは、町行政で行う事業の業者選択について、一般質問させていただきます。

三宅町では、工事や各事業に関しての事業所の選択は、入札方式となっております。最低制限価格に近い事業所、事業主で落札とあります。当たり前でよい方式とは思いますが、町内で賄えない事業、業者であればわかりますが、町内で賄える事業までも町外に業務委託しているように思えてなりません。

入札方式の落札制度もわかりますが、地産地消の精神を持ってして、優先的に地元業者に委託していくことで、町内の業者、事業所も、三宅町での事業に価値が見出せるのではないのでしょうか。町長の見解をお聞かせください。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 1番、瀬角議員の質問に回答いたします。

三宅町において、売買、賃借、請負その他の契約に関し必要事項は、地方自治法第234条、地方自治法施行令第167条から第167条の17及び三宅町契約規則に定められているとおりでありますが、その中の随意契約による特定の業者への発注に関しては、地方自治法施行令第167条の2及び三宅町契約規則第16条により、要件及び各項目ごとの金額が示されております。

また、入札参加者の資格に関しましては、三宅町契約規則第3条及び第12条に記載されており、さらに工事入札に関しては、三宅町建設工事請負業者資格審査要領、三宅町建設工事請負業者選定要領等により、指名業者を選定しております。

議員ご質問の優先的に地元業者に委託していくことにつきましては、地元業者の育成、町内における産業の活性化が考えられますが、三宅町といたしましては、今後とも法令等の遵守を行いつつ適切な入札の執行を行ってまいりますので、議員におかれましては、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（植村ケイ子君） 瀬角議員、再質問ありますか。

○1番（瀬角清司君） まことに丁寧な答弁で申しわけありません。

しかしながら、町内業者であるのですから、町が活用して育成していくのが当たり前だと、私は思っております。ややもすると、業者との癒着や談合などと疑われかねない難しいところではありますが、そのところをクリアにしながら町内業者を活用することで、先ほどもおっしゃるとおり産業の活性や活気につながっていくのだと、私は思っております。難しい問題ではありますけれども、どうか町内業者ありきの行政事業を行っていただくよう申し上げて、一般質問を終わりたいと思います。

○議長（植村ケイ子君） 瀬角議員、回答は要らないね。それでご理解いただけたということですよ。

○1番（瀬角清司君） はい。

○議長（植村ケイ子君） はい、わかりました。

◇ 辰 巳 光 則 君

○議長（植村ケイ子君） 続きまして4番議員、辰巳光則君の一般質問を許します。

4番議員、辰巳光則君。

○4番（辰巳光則君） 議長のお許しを得ましたので、一般質問させていただきたいと思えます。

まず、1つ目、つながり総合センター跡地の今後について。

昨年12月11日に閉鎖になった、つながり総合センターですが、児童館、学童保育等、さまざまな用途で利用されてきました。上但馬地区、但馬地区の一時避難所としても指定されてきましたが、閉鎖に伴い現在の避難所の場所をお聞きしますと、つながり総合センターの駐車場という回答をいただきました。

南海トラフのリスクもそうですが、現実的に起こり得るであろう災害は、台風や河川の決壊からくる水害が考えられます。上但馬、但馬は飛鳥川と曾我川に挟まれており、仮に災害が起きた場合、屋根のない駐車場では避難所としての体をなさないのではという不安の声を多数聞きます。つながり総合センターの今後をどうお考えであるか、町長の所見をお聞かせください。

2つ目、健民グラウンドのトイレについて。

現在、三宅健民グラウンドのトイレは、男子用2室、女子用3室とも全て和式です。子供から高齢者までさまざまな年代の人たちが使うトイレ、現在の子供たちは、生まれて一度も和式トイレを使ったことがない子もいます。高齢者にとっては、和式トイレは膝にかかる負

担が大きくなり、きついという声を多く聞きます。

使う人が快適に使えるよう、洋式化にされてはいかがでしょうか。今後、洋式化にされる計画はお持ちでしょうか、お聞かせ願います。同様に、体育館のトイレの洋式化についてもお聞かせください。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 3番、辰巳光則議員の質問に回答いたします。

平成27年12月に、つながり総合センターの建物を閉鎖したことに伴い、但馬地区においては公民館但馬分館を、上但馬地区においては老人憩いの家を風水害における一時避難所として開設していただくよう、各自治会長にお願いをしております。

洪水ハザードマップによる浸水の深さの目安では、大和川、曾我川、飛鳥川が氾濫した場合の最大値は、但馬分館、老人憩いの家において、大人の腰まで浸かる程度と予測しております。

住民の皆様には、迅速な避難行動をとっていただくようお願いするとともに、2階建ての住居においては1階から2階への垂直避難を行っていただくなど、自宅または近くの親戚や知人宅などの安全な場所に避難していただくよう、地域での自主防災活動も大切であると考えます。

広域避難所としての三宅小学校への避難を前提としており、河川水位を予測したタイムラインを整備し、早目に避難勧告等を発令し防災広報を行うよう、マニュアル化をしているところであります。

議員のご質問である、つながり総合センターの今後をどうお考えであるかにつきましては、冒頭で述べておられるように、同施設は児童館、隣保館として建設されたものであり、学童保育にも利用されてまいりました。これらの代替となる施設として、児童館を含め学童保育施設のあり方について急ぎ検討しているところでありますが、つながり総合センターについては、除却するか改築するかなどの決定をしなければならないところです。また、閉鎖から年月が経過している旧乳児園の建物についても同様に、将来の公共施設のあり方そのものについても、総合的に計画していかなければならない時期に来ております。

現在、作業を進めております公共施設総合管理計画の策定においても、学童保育施設のあり方を決定することが先決であると考えております。

次の、健民グラウンドのトイレについては、教育長が回答いたします。

○議長（植村ケイ子君） はい、教育長。

○教育長（澤井俊一君） 健民グラウンドのトイレについては、私のほうから回答させていただきます。

1つ目の、奈良県三宅健民運動場のトイレの洋式化についてであります。現在、当該トイレは、三宅町中央公園運動施設の中に設置されております。主に奈良県三宅健民運動場及び三宅町中央公園運動施設並びに公園施設の利用者が使用しておられます。

近年、少子高齢化が著しく進展している状況にあつて、高齢の方々や障害をお持ちの方々の社会参加は、これまで以上に重要性を増しております。こうした方々が利用する公共施設の社会基盤は、大変重要であると考えております。また、近年、家庭における生活様式の変化からトイレの洋式化が一層進んでいる中、和式トイレの使い方がわからず、トイレを正しく使用できない子供たちがふえてきております。

こうした状況を踏まえ、公共施設においても、誰もが快適に利用できる洋式トイレの必要性は高いと考えております。

しかし、和式トイレから洋式トイレに改修を行う上で、人が座った後の便座に座ることに抵抗を感じる方がおられたり、さらには、洋式トイレに改修を行うことによって現在設置している和式トイレより広い面積が必要になることも考えられ、トイレの個数自体が減少することも想定されます。施設の実態に合わせて洋式トイレへの改修を検討し、計画的に取り組んでまいりたいと考えます。

2つ目の、三宅町体育館のトイレの洋式化についてであります。三宅町体育館は、町民のスポーツ普及を図るとともに、健康で文化的な各種事業及び集会の用に供する目的を持って設置されており、主に三宅町体育館の利用者が使用されている状況であります。

現在、三宅町体育館のトイレは、男子用1室、女子用2室、全て和式であります。多目的トイレとして洋式トイレを1室設置しております。男子用、女子用トイレの洋式化につきましても、先ほど1つ目の奈良県三宅健民運動場のトイレの洋式化について述べさせていただきましたとおり、計画的に取り組んでまいりたいと考えております。ご理解いただきますようお願いを申し上げ、辰巳議員の一般質問の回答とさせていただきます。

○議長（植村ケイ子君） 再質問、辰巳議員。はい、どうぞ。

○4番（辰巳光則君） まず、つながり総合センターについての再質問をさせていただきたいと思っております。

今、町長の回答でよく理解はできるんですが、現実として老人憩いの家は、先ほどもありましたように平家でありますので、仮に水害が起こった場合は、約1.1メートルから1.5メー

ターまで水がつかるということで、完全に床上浸水するというのには目に見えていますし、上但馬だけでも今人口約1,000人おりますので、なかなか憩いの家だけでは収容し切れないと。

もちろん、一時避難ということですので、最終的には小学校が避難所になろうとは思いますが、川と川に挟まれているので、川を渡れないというときが出てくると思います。

仮に、もし大雨等の水害になった場合に決壊したときは、なかなか地震と水害が同時に来るといえることはないとは思いますが、超緊急措置として、もし仮に総合センターに人が来た場合には、一時的にも、人道的にも、総合センターをあけるというような考えはお持ちでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 部長。

○総務部長（岡橋正識君） ただいまの辰巳議員の再質問にお答えいたします。

現在、水防活動では、目視での水位監視活動とあわせて、現在国土交通省と奈良県の水位情報システムが稼働いたしております。上流での水位情報を含めてリアルタイムでの観測、今後の水位予測が可能となっております。

また、本町の水防関係初動体制マニュアルも、国管理河川、県管理河川ごとにタイムラインを整備し、避難勧告等の発令を迅速に行い、早目の判断により避難行動を行っていただくよう広報伝達活動を実施するといったしているところでございます。

しかしながら、議員ご指摘のとおり、避難がおくれ危機が迫る状況となった場合は、命を守る行動として、総合センターの建物や消防団詰所など緊急に逃げさせていただくことが考えられます。

ただし、耐震性不足により閉鎖をしている建物を指定場所とすることは、防災計画ではできませんので、ご理解をお願いいたします。

以上でございます。

○議長（植村ケイ子君） はい、辰巳議員。

○4番（辰巳光則君） じゃ、最終的には、緊急のときはあけてもらえるというような、こちらの認識でもよろしいのでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 岡橋部長。

○総務部長（岡橋正識君） 再度お答えいたします。

今申しましたように、危機迫る状況、命を守る行動でございますので、その場合はやむを得ないと考えております。

○議長（植村ケイ子君） はい、辰巳議員。

○4番（辰巳光則君） 一時避難場所に認定されなくても、今そういう形で回答いただきましたら、住民の方々も最悪のときはということで、今まで以上には安心して暮らしていけると思います。

自治会のほうでも自主防災会、消防団と連携して、先ほど町長がおっしゃっていたように、そういうものを早く取り決めて、緊急時にはどういう行動をしなければならないかということも検討していけたらと思います。

それでは、2つ目、健民グラウンドの洋式化について、ちょっと再質問させていただきます。

今の教育長の回答の中で、和式トイレから洋式トイレに改修する上で、人が座った後のトレイに座ることに抵抗を感じるという一言があったんですが、確かにそうでありまして、小学校等の学校でいろいろアンケートをとりますと、なかなか人の後に座ったところに座れないとか、掃除の時間の簡略化ということで、なかなか全てが洋式化ということに踏み切れるというのは、なかなか難しいみたいで。

でも、確かに、それとはあれですけれども、奈良県の高校、公立高校の洋式か和式かというので、先月、前回の県議会でもちょっと話が出ていましたけれども、今現行で大体、公立学校は洋式化がまだ40%ぐらいしか全国的には進んでいないという状況で、三宅小学校は70%がもう洋式化になっているということで、高水準であります。

ただ、なかなか学校で使うのと、そういう感じの健民グラウンドで使うというのは違ってきますし、現行、三宅体育館のトイレ、男子用1室、女子用2室とありましたが、調査させていただきますと、すごく並んでいると。男子トイレはめちゃくちゃあいていて、女子トイレもめちゃくちゃあいていて、多目的トイレ、洋式部分のところすごい列をなしているということで、やはりなかなか幾らあいていても、待っていても洋式でいたいということが多いので、その辺は早急にやっていただけたらと思うんですが。

○議長（植村ケイ子君） はい、教育長。

○教育長（澤井俊一君） お答えをいたします。

もう議員のおっしゃるとおりでありまして、外も中も、利用者にとっては洋式トイレを必要とされている現状があるということは十分認識をしておりますので、早急に前向きに検討をしてみたいと、そのように考えております。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 辰巳議員。

○4番（辰巳光則君） では、来期中には実現してもらえぬものと受けとめますので、何とぞ

よろしく申し上げます。

それと、1点だけ、ちょっと順序が逆になるんですけども、総合センターの件で、こちらが事前に通告していなかったのが、今回は聞かんとこかなと思っていたんですが、回答のほうで三宅幼児園跡地についてということも丁寧に回答してもらっていますので、町長も7月に選挙を終えられてまだ5カ月、今すぐどうのこうのということはないんですが、去年の12月議会でも一般質問させてもらい、それ以上に20年以上も放置されている状態が続いていますので、本当に今すぐ答えを出せとは言いませんが、町としての指針、将来的にどうしていくかという計画等は早急に進めていただけるものと思いい、一般質問を終わっておきます。

◇ 森内哲也君

○議長（植村ケイ子君） 続きまして3番議員、森内哲也君の一般質問を許します。

森内哲也君。

○3番（森内哲也君） 今、議長からお許しをいただきましたので、3番、森内哲也、一般質問をさせていただきます。

三宅町学童保育並びに児童館新築計画協議会について、質問させていただきます。

概要報告という形で町のホームページで、第3回の協議会からですか、内容を見ることができますが、それを議事録、こういう人がこういう発言をしましたよという形では出せないのでしょうかというのが1点です。

もう1点、三宅町学童保育並びに児童館新築計画の名称に新築計画とあるとおり、新築ありきで、今まで前の政権からになります、話が進んでいるのではないかという気がどうしてもしてしまうんですが、この機関は決定機関ではないとの認識も聞いています。協議会の位置づけについて、所見をお伺いします。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 3番、森内議員の質問に回答いたします。

1つ目の、議事録という形で出せないのかというご質問ですが、協議会の概要報告は、参加者の意見内容を要約して端的にわかりやすくまとめたものであり、参加者の発言内容を省略したり修正を加えないように配慮して作成したものです。現在のスタイルでホームページに公開する予定です。

また、協議会の傍聴もできるように協議会運営要綱の一部を改正し、11月28日開催の協議会から実施しておりますことを、この場をおかりしてご報告させていただきます。

2つ目の、協議会の名称に新築計画とあるが、新築ありきで話が進んでいるのではないかというご質問ですが、所信表明などでも申してきましたゼロベースとは、今までの案に新しい意見や案があれば、それらも含めて最初から考え直すということであります。当然、その中には新築もあればそれ以外の案もありますので、それらをなしにして新築の案のみを対象にして、意見聴取や議論を進めるというものではありません。

また、協議会の位置づけにつきましては、地方自治法第138条の4第3項に基づく附属機関ではなく、学童保育並びに児童館事業に係る機関や団体の代表者の方々を参加者とさせていただきます、多様な意見を聴取する場ではありますが、最終的な意思決定は町で行います。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員、再質問。はい、どうぞ。

○3番（森内哲也君） 自席で失礼いたします。

今、回答いただきました中に、参加者の発言内容を省略したり修正を加えないように配慮してとありますが、出てきたものからどうやって発言者の内容が省略されているとか、修正が加えられていないとかというのが、見る人にはわからないと思うんですが、その辺の配慮とかというのは考えておられないのでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 中田部長。

○健康子ども部長（中田 進君） 自席から失礼します。

会議の内容につきましては、事務局のほうで録音をさせていただいております。後で、いわゆるテープ起こしですね、やるんですけれども、中には聞き取りにくい部分もございますし、事務局のほうで整理しないとつながらない部分もたまにございます。そういった部分も含め、参加者が述べられている意見の趣旨、内容を変えないようにつなげて要約していくと、そういう作業を行った上でホームページに載せさせていただいております。

ですので、参加者が発言された内容と趣旨は変えないように載せておりますので、そういう整理を行っているということで、ご理解いただきたいのですが。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） はい、森内議員。

○3番（森内哲也君） そういうことであれば、例えば教育長がこう言いましたと書いてくればいいんじゃないかなということなんですが、あと、私を信じて、発言内容を省略したりしてないでというようにしかとれないんで、今のだと。何かそうできない、誰々PTAの代表がこう言いましたとかというのはできないんですか。それは、何かこの地方自治法第138

条の4に基づく機関ではないので、そんなふうにしなくていいとか、できないとか、そういうつながりとかはあるのでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 中田部長。

○健康子ども部長（中田 進君） 誰それがどういった意見をという参加者の名前を出していないのは、もともとの協議会の趣旨に、自由闊達な意見を出していただくという趣旨がございました。そのもともとの目的を阻害しないように、参加者というような表現をしているところであります。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員。

○3番（森内哲也君） 自由闊達なことなので匿名みたいな形でしているということですが、一般住民の方の意見であれば、私はそれでいいと思うんですが、やっぱり代表を背負って出ておられるので、「いや私の意見、匿名にして」なんてことはないと思うんです。それやったら多分、代表も受けられないので。なので、PTAの方がこう言った、局長がこう言ったとかというふうに、特に問題ないとは思いますが、やっぱりできないものですか。

○議長（植村ケイ子君） その辺どうですか。はい、中田部長。

○健康子ども部長（中田 進君） 手法的にできないという問題ではなくて、参加者に配慮した、先ほど回答になったんですけども、持ち帰りまして、参加者あるいは事務局とも相談しまして、今後進めていきたいと思えます。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 町長にかわってもらえますか。

○町長（森田浩司君） 議事録という形で、今ホームページに載せたりしている中で、誰がどのような発言をしたという、後々その発言で決まったのではないかなどという誤解を生まないうために、発言者というのを特定できないような形ではさせていただいています。

ただし、先ほど議員がおっしゃっていたように、意見を変えているんじゃないかという不信感の部分に関しましては、協議会自体を傍聴できるような形ということで、見ていただいた方がそれを見て、これはおかしいじゃないかとならないような工夫ということをさせていただいていますので、その点でご理解いただけたらと考えております。

○議長（植村ケイ子君） ありがとうございます。

森内議員。はい、どうぞ。

○3番（森内哲也君） ありがとうございます。いろんな配慮があるのかなと理解しました。

学童保育並びに児童館事業に関する機関や団体の代表の方が参加していただいている協議会ということですが、児童館事業に関する機関や団体というのは、どこになるのでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） はい、どうぞ。

○健康子ども部長（中田 進君） 児童館を代表するという参加者というのはおられません。参加者全員で協議をしていただくということになっております。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員。

○3番（森内哲也君） 私はそれは問題があると思います。児童館、三宅町の子供の福祉を考えることなので、やっぱり何か専門的に、こうしたほうがいいよとか、こんなふうにするべきじゃないか、つながり総合センターがなくなってしまったので、ちょっとこんなふうなことかという、やっぱり意見が欲しいし、みんなで考えようとなると、やっぱりそれこそ先ほどの、私が代表で責任を持って発言しているみたいなことがうやむやになるので、ちょっと第4回の協議会を傍聴させていただいたんですが、児童館のことについての意見が薄いというか少ないというか、余り見受けられなかったので、ちょっと心配しているのは心配しているので、ちょっとそのあたり、いかがでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 中田部長、答えられますか。はい、どうぞ。

○健康子ども部長（中田 進君） 今、実は児童館というのは三宅町に2つあって、1つが今ちょっと休止状態になって、もう1カ所は上但馬団地の近くにあるんですけれども、児童館をじかに運営するものが参加者としてはおられません、それは住民全体を代表する議会のほうからも参加はいただいております。あとの参加者と一緒になって協議をしていただいているというスタイルでございますので、全く児童館のことについて議論や意見がないというふうには解釈はしておりません。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員、学童保育事業に関する機関という形を聞きたいんやね。

○3番（森内哲也君） なので、児童館についての意見ももちろん協議しないといけない機関だと認識しているので、そういったことの専門的な、みんなで考えようじゃなくて、ひまわりさんが請け負っておられたんで、業者なので参加できないみたいなこともうわさというか聞いていますけれども、やっぱり専門的な知識も持っておられたりするので、業者的なことを言われたら、それはここは関係ないとか言って排除していけばいいのかなと思いつつながら、

ちょっと児童館のことも三宅町にとっては大事なことだと思っているので、ちょっとこういう質問になっているのですけれども、何か、部長から答弁いただいたんがよくわからないというのが正直なところなんですけれども。

○議長（植村ケイ子君） 補足的な部分を。はい、副町長。

○副町長（北野勝也君） すみません、わけのわからないような答弁を。

児童館につきましては、児童館というか、児童に関する施策という話だと思います。それについては、ハードものを建てるのかという議論とは違った形で、当然、町として考えていかななくてはいけない施策だと感じております。

今の協議会の中で言いますと、学識経験者で会長になっていただいている方なんかは、子供の施策についての専門家であったり、委員にはなってはいただいている方なんですけれども、オブザーバーとして県の子育て支援のほうの担当のほうが、最初のころは来ていただいて、それは随時入っていただくような、協議会の中ではシステムをとっておりますので、当然、学童云々の子育て支援策については、町のほうが考えていくべき施策かなと思いますので、専門的な話になってきて、施策の助言をいただくとかという場が設けられるようでしたら、またそれについては改めてしていきたいなというふうには考えております。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） はい、森内議員。

○3番（森内哲也君） ありがとうございます。

自由闊達な意見が出る場だというようなことも先ほどあったんですが、私は4回目を傍聴させていただいて、行き詰まっているなというのが正直な感想でした。参加されている方々からも、町としてどうなん、決めてくれな私らの話もあんまり何を言うていいかわからへんわみたいなことがあったので。

先ほど町長からも公共施設の管理計画をつくらないといけないですねみたいな話がありました。その中で箱物3原則というようなものがあって、新築は原則として行わない、何かの施設を更新する。建てかえするのやったら複合施設、いろんな機能を詰め込むということですよ。あと、施設の総量、床面積を減少していくみたいな、箱物、建物の原則があって、公共施設の管理計画をつくりましょうというようなことが、ご存じのとおりあると思うんですが、そうすると、例えばそういう枠組みを、学童、児童館というところにはめると、新築は原則として行わない方向で皆さん検討してくださいとか、施設総量、せっかくという言い方は悪いと思いますが、つながり総合センターがその分まだあるので、潰すということにな

れば減ることになるので、あそこも使わないで協議してくださいとかという、ある程度の町としてのそういう方針を出せば、また議論が、いやそれやったらこうちゃう、ああちゃうみたいなことも高まるのじゃないかなと思ってまして、そのあたり、公共施設の管理というところと、今回の建築するのか、あるものを使うのかわからないですが、その辺との絡みで何か考えられておることがあれば、お願いしたいんですけども。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 議員の今のご意見は、しっかりと勘案しながら検討したいと思っております。

ただ、先ほどの協議会の中でも、議事録の中でも出させていただいていますけれども、さまざまな可能性、方向性についてのご意見も出ております。その中で、最終的に議員のご意見なども勘案しながら、町として決定していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員。

○3番（森内哲也君） ありがとうございます。

最後です。現在、協議会4回終わって、3回目の議事録が出て、4回目もまた同じように出るんだと思うんですが、1回目、2回目というは出ないのですか。これは、出すことはできないのでしょうか。もう、森田町長にかわられたのは3から4なんで、その辺はいかがでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 町長、どうぞ。

○町長（森田浩司君） 新たに協議会をゼロベースに立ち戻したということで、スタートとして、3回とありますけれども、実質1回目、2回目として捉えていただきたいと考えております。

○議長（植村ケイ子君） ご理解いただけましたか。はい、どうぞ。

○3番（森内哲也君） わかりました。

そしたら、急いでしないといけない話ではありますが、やはり公共施設の管理とかというところに絡めたり、三宅町の子供の福祉とかという政策に絡めると、すぐに答えがなかなか出ない問題だと思うんで、何か初めのときには、4回で終わるとか5回で終わるとかみたいな話はあったと思うんですが、それもゼロということで、理解よろしいでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） はい、町長。

○町長（森田浩司君） 今の町としての方向性がいつ決まるのかという問いだと思うんですけど

れども、次回の協議会で方向性を示せるように検討しておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員。

○3番（森内哲也君） すみません、何回も。

森田町長の公約にも、いろんな意見を取り入れてというのがあったと思います。僕は非常にいいことだと思っています。

ただ、テクニク的にはなかなか難しいことではあると思うんで、その辺も次回には決めるということなんです、その辺の、誰とどんな話でみたいなところはどうなるんですか。何かもう次、もう結果に持っていくということなんです、もう庁内で決めます、関係部署で決めますみたいな理解でよろしいんでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） はい、町長。

○町長（森田浩司君） いただいているご意見を参考にしながら、もちろん今、議員からおっしゃられたご意見も参考にしながら、最終的に町が責任を持って決めていくということをお願いしたいと思います。

○議長（植村ケイ子君） 森内議員。

○3番（森内哲也君） わかりました。ありがとうございます。

○議長（植村ケイ子君） それでご理解いただけましたか。

○3番（森内哲也君） はい。

○議長（植村ケイ子君） ありがとうございます。

◇ 池 田 年 夫 君

○議長（植村ケイ子君） 続きまして9番議員、池田年夫君の一般質問を許します。

池田年夫君。

○9番（池田年夫君） 議長の許しがありましたので、一般質問を行います。

9月1日は防災訓練が全国的に行われる日でありました。東日本震災、津波から5年、ことしは熊本、大分県で震度7前後の地震が2回も起こり、余震も1,000回以上になり、復旧に努力されているところであります。

7月に行われた町長選挙で、町長陣営が配布された選挙運動用ビラで、一時避難所などの施設の耐震診断の早期実現と記されています。森田町長は、9月の議会の所信表明で、一時避難所に指定している各施設の耐震診断も早期に実施していく必要があることは今後の課題

ですが、風水害の発生を想定した場合の一時避難所となる公共施設のあり方も含めまして、地域防災計画の見直しも視野に、広域的な視点での一時避難所の設定ができないかを含め、適切な公共施設の配置を総合的に考え、今後の財政や資金の準備を行っていくため、公共施設総合管理計画の策定とあわせた取り組みを行ってまいりますと述べられました。緊急避難場所の耐震診断計画と、公共施設の総合管理計画はどのようになっているのか、町長の所見をまず伺います。

次に、防災行政無線について会計検査院が調査したところ、災害時に機能しないおそれがある情報発信器や放送拡声器が全国で27市区町村に800基あることがわかったとマスメディアは報じています。本町の場合はどのようになっていますか。町長の所見を伺います。

次に、有事や災害時に自治体や企業が業務を続けられるために、業務継続計画をつくることになっています。内閣府は昨年5月に自治体が必ず定めるべき点として6つの要素を上げています。本町の場合はどのようになっていますか。町長の所見を伺います。

次に、本町の場合も、地震や水害等の災害に対して対策はとられていると思いますが、災害が起きた場合、一時避難所に避難するわけでありませけれども、大水害になった場合、1メートルから1メートル50浸水した場合、2階のある家は2階に避難したらまだ助かりますが、1階の人や一時避難所に避難されている方はどこへ避難したらいいのか、町長の所見を伺います。

また、東屏風団地の住民や屏風の住民は、式下中学校の体育館に一時避難ということになりますが、体育館も浸水する可能性があります。そのようなときに教室が避難場所として使用できるのでしょうか。町長の所見を伺います。

次に、7月に行われた町長選挙のときに配付された選挙運動用ビラで、重要な施策については政策決定過程をオープンにし、皆様と対話をして政策を決定しますと掲載されています。具体的に、重要な施策とはどのような施策なのか。皆さんと対話して施策を決定しますとなっていますが、具体的にどのように対話していくのかを明らかにしてください。また、町民とタウンミーティングを行うことについての町長の所見も伺います。

また、町長選挙のときに配付された選挙運動用ビラには、商工会との連携を図り、お祭りやイベントなども参加するとなっていますが、町内の各種団体との連携について公平・公正に行うべきと思いますが、町長の所見を伺います。

次に、過疎化の問題についてであります。8月13日の奈良新聞に、三宅町も人口減少化率を算出すると、三宅町は20.7%となり過疎化指定の市町村に該当すると報じています。過疎

化に指定されたプラス面とマイナス面を明らかにし、過疎化にならないようにするための方策について、町長の所見を伺います。

次に、重要な施策についての政策決定過程をオープンにし、皆様と対話して政策を決定していくことを信条として町政を進めていきたいと考えていますと、町長は所信表明で明らかにされました。しかし、7月の町長選挙以後も、各課などの施策の要綱など、議会にも知らされずに公表されています。要綱などの変更がある場合は議会に報告することが必要と考えますが、町長の所見を伺います。

次に、町の学童保育並びに児童館新築計画協議会運営要綱が11月1日から改定されました。どうして改定する必要があったのか、町長の所見を伺います。

この協議会で、現在どこまで話が進んでいるのか報告してください。9月議会で町長は所信表明で、審議内容もゼロベースに立ち戻ることも必要と言っておられます。職員にその中身が伝わっているのでしょうか。町長の所見を伺います。

次に、道徳についての質問をします。平成23年4月に小学校の学習指導要領が全面改訂され、26年には文科省が「心のノート」を改訂して、「私たちの道徳」を小中学生に副読本として配布し、29年度に道徳科の教科書を採択し、30年から使用されることになっています。小中学校で使用するのか、教育長の所見を伺います。

これで一般質問を終わりますが、答弁によっては自席から再質問させていただきます。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 9番、池田議員の質問に回答いたします。

1点目のうち、緊急避難所の耐震診断計画と公共施設の総合管理計画はどのようになっていますかとの質問についてですが、住民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくりを推進するためには、所信表明でも申し上げましたとおり、あらゆる災害を想定し、公共施設のあり方を含め、地域防災計画の見直しも視野に入れながら、本年度においては公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいるところであります。

本計画につきましては、長寿命化や財政負担の平準化を目的としたものであり、役場庁舎や小学校等の公共建築物、また道路や橋梁、下水道などのインフラ資産を対象として、建築年数や建築工事の額、耐用年数や減価償却資産額などを整理し、庁内においては、個別計画に沿った公共施設等の現状や課題、今後の方向性についても整理を行い、住民の皆様のアンケートによる調査結果を反映させた計画の素案については、住民の皆様の意見を聴取するパブリックコメントの募集を2月に考えているところであり、3月には三宅町公共施設等総合

管理計画を策定し、緊急防災事業にかかわる補助金並びに事業債の有効活用により、ハード面の防災対策を計画的に推進してまいりたいと考えております。

また、本計画に基づき、東屏風体育館や小柳公民館分館などの一時避難場所については、今後の財政状況を見据えながら、施設の耐用年数や改修費用等を含め、優先的かつ計画的に実施してまいりたいと考えております。

次に、防災行政無線について会計検査院が調査したところ、災害時に機能しないおそれがある情報発信器や放送拡声器が全国で27市区町村に800基あることがわかったとマスメディアは報じています。本町はどうなっていますかとの質問ですが、地域防災計画において、災害対策本部並びに情報通信拠点を役場庁舎と位置づけており、耐震性等に問題があり使用が不能な場合は、文化ホールに本部を設置することとしております。

本庁舎については、耐震診断結果に基づき、本年度において耐震補強にかかわる設計を実施しており、平成29年度において予算を上程させていただき、耐震補強並びに改修工事を実施してまいりたいと考えております。

なお、本町の災害時における防災行政無線であります。庁舎が使用できる状況において電力供給が断たれた場合におきましては、バッテリーによる補助電源により1日間は稼働できる状況にあり、またガソリンとプロパンガスを併用可能な発電機なども配備しており、災害時には非常電源として運用できるような体制を整えております。また、県防災無線の送受信においては、エンジン発電の非常用電源が確保されております。

次に、有事や災害時に自治体や企業が業務を続けられるために、業務継続計画をつくることになっております。内閣府は、昨年5月に自治体が定めるべき点として6要素を上げています。本町の場合どうなっていますかとの質問ですが、現在は地域防災計画に基づき、災害備蓄品や非常用電力、通信手段の確保など、防災対策に必要な個々の体制については整備されているものの、非常時優先業務の整理などについては不十分な内容であることから、内閣府が示している計画のガイドラインにある、1、首長不在の代行順位、2、庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定、3、電気・水道・食料等の確保、4、通信手段の確保、5、行政データのバックアップ、6、非常時優先業務の整理の6要素について定めることについて、庁舎の耐震化に合わせて実情に沿った計画を策定し、公表してまいりたいと考えております。

次に、大水害になった場合、100センチから150センチ浸水した場合、2階のある家は2階に避難したらまだ助かりますが、1階の家や一時避難所に避難されている方はどこに避難したらいいのか。また、東屏風の住民や屏風の住民は式下中学校の体育館に一時避難というこ

とありますが、体育館も浸水する可能性があります。そのようなときは教室が避難場所として使用できるのでしょうかとの質問ですが、議員指摘のように、建物の1階から2階に避難する、いわゆる垂直避難で、自宅または近くの親戚宅や知人宅等の安全な場所に避難していただくことになります。

そのためには、日ごろから避難が必要となった場合を想定していただき、洪水ハザードマップを利用し、家族や地域の方々と話し合ったり相談していただくことが大切であると考えております。

一時避難時に学校の教室を使用できるかとのことにつきましては、式下中学校の体育館が浸水する可能性がある場合は、町の災害対策本部で協議の上、教育委員会、学校等と調整の上、使用することになります。

2つ目の、政策決定過程のオープンについてですが、重要な施策とはについてのご質問についてであります。行政運営における重点施策や住民の皆様が必要とする行政サービスなど、町づくりのために必要な施策であり、住民の皆様や各種団体の意見を広く取り入れながら進めるべきものであると考えております。

例えば、住民参加の協議会やタウンミーティング、またはアンケート調査により住民の意見をお聞かせいただいた上で、庁内においては議論を重ねることにより町が施策の決定を行い、議会への丁寧な説明を行っていきたいと考えております。

なお、予算要求や庁内会議、事業の打ち合わせ等の内容につきましては、情報公開や個人情報保護の関係法令に基づき、必要に応じて適切に対応していきたいと考えております。

先ほどの政策決定についてでも申し上げましたが、タウンミーティングの実施により町の施策についてご説明させていただくことも大切ですが、個々の事業については、皆様のご意見をお聞きしながら進めていきたいと考えております。

また、各種団体との連携につきましても、商工会との連携のみを密にしていきたいというのではなく、例示したものであり、三宅町の町づくりのため、自治会を初めとする地域団体の皆様とともに全国一元気な町づくりを進めていきたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りたいと考えております。

続きまして、過疎化についてであります。国勢調査による人口減少については、三宅町のみならず全国的な課題でもあり、新聞報道については、平成22年度の過疎指定要件に該当した場合における県の対策について報じられたものであり、現時点において三宅町が過疎地域として指定されるかどうかは未確定であります。

しかし、本町としましても、少子高齢化による人口減少については喫緊の課題であり、人口減少に歯どめをかけるべく、地方総合戦略につきましても創意工夫により積極的に取り組んでいきたいと考えており、三宅町総合計画においても積極的な町づくりへの取り組みを推進していきたいと考えております。

なお、過疎地域と指定された場合につきましては、過疎地域自立促進計画の策定により、過疎対策事業債を活用した財政支援を受けることが可能となる大きなメリットがあります。マイナス面については、過疎という言葉そのもののイメージのみであると考えております。

要綱などの制定や変更を行ったときは、告示行為をもって公表を行っているところでありまして、町例規集の整備、編さんにおいては、全ての要綱や要領について追録は行っておりません。

しかしながら、行政運営における重要な施策を進める上で、住民を代表する議員皆様のご理解、ご協力が最も重要であると考えておりますことから、議員の皆様にご確認いただける方法を検討してまいりたいと考えております。

6点目、学童保育並びに児童館新築協議会運営要綱についてなのですが、1つ目の、協議会の運営要綱は、なぜ11月1日から改定する必要があったのかというご質問ですが、協議会の内容の透明化を図るために、傍聴が可能となるように一部改正を行ったものであります。

2つ目の、協議会の進捗状況につきましては、ゼロベースとは、今までの案に新しい意見や案があれば、それらも含めて最初から考え直すという考えのもとに、参加者から意見聴取を行っているところであります。

次の、道徳の教科書については、教育長が回答いたします。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 教育長。

○教育長（澤井俊一君） 池田議員の道徳の教科書については、私のほうから回答させていただきます。

新学習指導要領は、小学校が平成32年度、中学校が平成33年度に全面実施される予定であります。道徳については、議員が言われるように、小学校では平成30年度、また中学校では平成31年度から教科となる予定でございます。そうなりますと、これまでの副読本ではなく、国語科や算数科と同じように採択した教科書を用いて授業を行うことになっております。

以上、回答させていただきます。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員、あと10分ほどしかないから、再質問は肝心なところとい

うのかな、聞きたいところを重点的に、ちょっと質問お願いします。どうぞ。

○9番（池田年夫君） まず、学童保育並びに児童館新築計画協議会の運営要綱についてなんですけれども、この要綱の第9条で協議会の傍聴の扱いは町議会傍聴規則に準ずると変更になったということなんですけれども、第7条との関係はどのようになるんでしょうか。そしてまた、傍聴者に守秘義務を負わせる要綱はいかがなものかというふうに思いますけれども、どのようになるんでしょうか。そして、ゼロベースということなんですけれども、町長の所信表明を部長はどのように理解しているんでしょうか。町長のゼロベースという観点が、部長として本当にゼロベースとはこういうもんだと、新たにゼロから出発するんだということから認識されておられるのか、そこら辺でこの運営要綱との関係で、今どのように進んでいるのか、その内容についても、今どこまで進んでいるのかということを説明したけれども、そのことについて一言の答弁もなかったので、再度答弁をお願いいたします。

○議長（植村ケイ子君） 中田部長、いきますか。はい、どうぞ。

○健康子ども部長（中田 進君） 最初の答弁にもございましたように、改正は透明化を図るために、傍聴可能になるように一部改正を行ったものであります。

守秘義務のことにつきましては、まだ決まっていないことや、例えば予算にかかわるようなこと、そういうお話の部分につきましては、今現在、傍聴は可能になりましたけれども、秘密会というような形式をとらざるを得ない場合も出てくるかなというふうに認識をしております。

それから、ゼロベースのことにつきましては、先ほど森内議員のご質問のときにもお話ししましたが、ゼロというのは、今までの案も含めて、新しい案も含めて検討を進める、意見をいただくということでございます。

以上でございます。

○議長（植村ケイ子君） はい、池田議員。

○9番（池田年夫君） 守秘義務との関係で、もう一つよくわからないんです。傍聴者についても守秘義務を課すのかということに要綱ではなっていますよね。そういうふうに受け取れますよね。そやけれども、一般の傍聴者については、そういうことというのを知らずに参加しているということなので、そこら辺のことについて実際にどういうことになるのかと。やっぱり、そういう協議会をやる場で冒頭に、今回の場合については守秘義務とさせていただきますとか、そういうことを言うて協議会を開いてもらうということであれば、参加者までに、傍聴者までにそれを課すというのは酷なものではないかというふうに思うんですけれ

ども、その点はどうでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 中田部長。

○健康子ども部長（中田 進君） 秘密会とする必要があるときには、事前にお知らせをする予定はしております。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員。

○9番（池田年夫君） それと、今まで3回、4回までやられていますよね。その進捗状況については一言も報告がないんですけれども、何がどういうふうになっているのか、それを報告してください。

○議長（植村ケイ子君） 回答、いけますか。はい、中田部長。

○健康子ども部長（中田 進君） 何がどういうふうに進捗しているのかということですが、今までの内容で申しますと、ゼロからと、スタートとまた仕切り直しということで、今までありました案を含めて、新しい案も加えて検討をしているところでございます。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 町長。

○町長（森田浩司君） 今の進捗状況についてですけれども、協議会でいただいたさまざまな案について、費用であったり、法的に問題がないのかなど、さまざまな角度から検討を進めている状態です。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員。

○9番（池田年夫君） もう一つ、協議会で話し合われた中身がはっきりと伝わってこないんですけれども、今ここで答弁できないのであれば、後で文書なり、まとめて報告してもらいたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） はい、町長。

○町長（森田浩司君） 協議会の協議の内容、協議会で出た意見の内容については、ホームページで公開しておりますので、そちらのほうをご確認いただけたらと思います。

○議長（植村ケイ子君） はい、池田議員。

○9番（池田年夫君） ホームページで見よということなんですけれども、見られる人はいいですよ。そやけれども、見られない人もたくさんおられるわけで、十分住民の皆さん方がわかるような方法でこういう話し合いが進んでいるということにする必要があるんじゃないかと思えます。

次に、道徳の教科書の問題なんですけれども、一応政府の方針どおり、これまでの副読本ではなく、国語や算数などの他の教科書と同様に採択された教科書を用意して授業を行っていくというさっきの答弁があったんですけれども、そうすると、道徳について評価というんですか、そういう評価もされるんでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 教育長。

○教育長（澤井俊一君） 道徳については、教科に格上げはされるんですが、特別の教科という表現を文科省はしております、それはなぜかといいますと、今までは普通の教科ですと、例えば算数科、国語科でしたら、中学校でしたら国語の免許を持っている者、算数科の免許証を持っている者がその教科の指導に当たるということでありましたが、道徳科については、文科省は今、担任が行うと。いわば、教科ではありますが、その教科の専門的な免許証を必要としないということになっておりますので、今までの通常の教科とは少し違う取り扱いをします。したがって、特別の教科、道徳という名称を使っております。

免許証のこともそうですが、今、議員のご質問にあったように、評価についても、当初からこの議論の的になっていたところでもあります。道徳科を、人の心の成長を数値によって評価するのかどうかということが、非常に議論の的になっておったところですが、そこについては、文科省は27年3月27日にこの新学習指導要領を告知したんですが、その中では数値によつての評価は行わないというふうに明言をしております。したがって、それは各市町村または学校において文言によって評価をします。その文言はどこに記していくかということは、市町村によって今の通知簿のどこに記載をするかとか、指導要領のどこに記載するかということは個々にあるんですが、今までのように5段階評価の数値評価はしないということは文科省が決めております。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） はい、池田議員。

○9番（池田年夫君） 今、文科省のほうも5段階評価はしないという答弁でありましたけれども、人の内心のことを、通信簿なら通信簿にどのようにして評価して書いていくのかということが求められてくるのではないかとということも予測されるんですよ。そうした場合に、個人の内心をどういうふうに評価していくかということについても、言葉そのものについても限定されてくるのではないかとということも予測されるので、そういう人の内心まで5段階評価するということについては、学校としてもできないという方向で表明していく必要があるのではないかとというふうに思うんですけれども、その点はどうなんでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） はい、教育長。

○教育長（澤井俊一君） 評価は教科になった以上は求められますので、必ず評価は何らかの形である必要があるというふうに考えております。

道徳科の今、示されているのは、低学年1・2年生、3年生・4年生、または5年・6年、低、中、高の教科書が配布されます。低学年では19項目ぐらいの内容が示されています。3・4年生で20項目ぐらいですか、5・6年で22項目の指導内容が示されておりますので、それを全部一つ一つ評価をするということは多分不可能だろうというふうに思いますが、全体として担任が指導の過程で子供たちの心の動きをキャッチして、そこを表現していく、評価をしていくという格好になろうかと思えます。

以上です。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員、理事者側からすごく丁寧な回答が続いていたので、時間があれやから、最後、一言あればどうぞ。

○9番（池田年夫君） もう結構です。

○議長（植村ケイ子君） いいですか。ご理解いただきましたね。

以上で一般質問を終わります。

◎追加議案の上程

○議長（植村ケイ子君） お諮りします。

本日の議事日程に追加議案を上程したいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（植村ケイ子君） 異議なしと認めます。

よって、議案を追加することに決定しました。

追加の議案を配付いたします。しばらくお待ちください。

（議案配付）

○議長（植村ケイ子君） 配付漏れはございませんか。ありませんね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議案第66号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（植村ケイ子君） 追加日程第1、議案第66号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを上程し、町長より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（森田浩司君） 本日、追加議案として提出いたしました追加日程第1、議案第66号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明をいたします。

本条例の改正目的といたしましては、働きながら育児や介護がしやすい環境整備を進めるため、民間及び人事院勧告を踏まえた国家公務員法の改正に準じて、地方公務員の育児支援、介護支援に係る規定を改正するものでありまして、改正点は3点となります。

1つ目が、育児休業等の対象となる子の範囲に、特別養子縁組の監護期間の中の子及び養子縁組里親に委託されている子を加える。2つ目が、介護休業取得可能期間である3カ月を3期に分割して取得できることとする。3つ目は、介護休暇とは別に、連続する3年の期間内において、介護のため1日につき2時間の範囲において勤務をしないことができるとしたものであります。

実施時期につきましては、1つ目は平成29年4月1日、2つ目並びに3つ目は1月1日施行としております。

以上が、本日追加でご提案申し上げました議案1件でございます。何とぞ慎重審議賜り、可決いただけますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わります。

○議長（植村ケイ子君） ただいま町長の説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田さん。

○9番（池田年夫君） この条例そのものなんですけれども、なぜ12月議会に当初から提案できなかつたのか、説明してください。

○議長（植村ケイ子君） はい、部長。

○総務部長（岡橋正識君） ただいまの議員の質問にお答えいたします。

国会通過のほうは12月1日になりまして、その後の各市町村への通知となりましたので、今回追加ということで上げさせていただきました。ご理解をお願いします。

○議長（植村ケイ子君） 池田議員。

○9番（池田年夫君） 国会のほうで12月1日通過ということであれば、事前に議長や副議長または議会運営委員のほうにも全然、追加議案があるということすら説明もなかつたんですけども、その点はどういうことになっているのでしょうか。

○議長（植村ケイ子君） 一応、説明は受けていますけれども。

- 9番（池田年夫君） いつですか、それは。説明を受けたのは。
- 議長（植村ケイ子君） 2日前。
- 9番（池田年夫君） 2日前ということであれば、この会議に入る前でも追加議案があるということ、これを全議員に説明していく必要があるんじゃないかと。その中身もこういう中身だということ、やっぱり議員に事前に説明しておくべきではないかというふうに思います。
- 議長（植村ケイ子君） そしたらこれは、私が聞いていて皆さんにということではなかったのは、私の責任です。ご理解いただけますか。
- 9番（池田年夫君） はい。
- 議長（植村ケイ子君） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（植村ケイ子君） 質疑なしと認めます。質疑は終了します。
これより討論を行います。討論はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（植村ケイ子君） 討論なしと認めます。討論を終わります。
お諮りいたします。
追加日程第1、議案第66号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを採決します。
採決は起立で行います。
本件を原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。
（賛成者起立）
- 議長（植村ケイ子君） 全員起立と認めます。
よって、本件は可決することに決定しました。

◎町長挨拶

- 議長（植村ケイ子君） 以上で、本定例会に提出されました案件はすべて議了いたしました。
閉会に当たり、森田町長より挨拶を受けることにいたします。
森田町長。
- 町長（森田浩司君） 三宅町議会第4回定例会の閉会に当たり、ご挨拶を申し上げます。
本定例会に平成28年度三宅町一般会計第6回補正予算を初め、特別会計補正予算3件、水道事業会計補正予算1件、条例の制定及び改正について8件、規約変更2件、議決案件4件、

人事の同意 1 件の計 20 件の重要案件のご提案を申し上げ、慎重審議いただき、各議案全て原案どおり可決、ご同意をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、本定例会においては、議会の意見書 3 件の採択をされたところでございます。

年末を迎え、本格的な寒さが到来いたしますが、議員皆様におかれましてはご健康に十分ご留意いただきまして、輝かしい新春を迎えられるようご祈念申し上げますとともに、今後とも本町発展のため、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（植村ケイ子君） ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（植村ケイ子君） 閉会に当たりまして、一言皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年 5 月より議長を務めさせていただいてから本年 5 月には 2 名の議員辞職があり、また 7 月の議員の補欠選挙により新しく 2 名の議員を迎えることなど、議会においてもさまざまな変化があった中、本第 4 回 12 月定例会まで、副議長を初め、議員皆様のご指導、ご協力によりまして無事議了することができましたことを心から厚く御礼申し上げます。

年末に向かい寒さが増していきますが、どうかご自愛いただき、よりよい年を迎えられることをご祈念申し上げます、お礼の言葉にかえさせていただきます。本当にありがとうございました。

以上で、平成 28 年 12 月三宅町議会第 4 回定例会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

（午前 11 時 55 分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員